



東北大学

QST-東北大 マッチング研究支援事業 成果報告会



量子科学技術研究開発機構(QST)と東北大学(東北大)は、包括的連携協力協定の下、さらなる連携強化に向けて両機関の研究者が協働して、3GeV高輝度放射光施設(NanoTerasu)の利活用を想定したテーマによる連携研究を効果的・効率的に計画、推進する支援プログラムを創設し、2022年度から2024年度まで10研究課題を推進してまいりました。

この度、その集大成として、各課題のこれまでの成果や今後の展開について知っていただく機会とすべく、成果報告会を開催いたします。両機関に所属する方のみならず、どなたでもご参加いただけますので、両機関の展開する研究や、NanoTerasuの利活用にご関心をお持ちの方々は是非、奮ってのお申込みをお待ちしております。

日時

2025年3月4日(火) 13:00~16:40

開催形態

オンライン開催 Teamsウェビナー

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶 QST 伊藤 久義 理事

13:05-16:35 1.室温量子情報処理に向けたワイドギャップ半導体スピン欠陥への電気・光学的スピン注入によるスピン状態制御

東北大 工学研究科 好田 誠/QST 高崎量子技術基盤研究所量子機能創製研究センター 大島 武

2.二次元ヘテロ構造の電子・スピン状態制御と光スピン流操作の研究

東北大 理学研究科 橋本 克之/QST 高崎量子技術基盤研究所量子機能創製研究センター 境 誠司

3.新規アルミニウム合金水素化物の探索

東北大 金属材料研究所 味戸 沙耶/QST 関西光量子科学研究所放射光科学研究センター 齋藤 寛之

4.二次元物質・規則合金ヘテロ構造界面磁性の解明による革新的強磁性トンネル接合素子の創成

東北大 国際集積エレクトロニクス研究開発センター 永沼 博/QST 関西光量子科学研究所放射光科学研究センター 上野 哲朗

5.RIXSの超高エネルギー分解能活用に向けた遷移金属酸化物における電子相の研究

東北大 金属材料研究所 藤田 全基/QST 関西光量子科学研究所放射光科学研究センター 石井 賢司

6.ナノ空間計測のためのビームライン技術開発と新奇トポロジカル量子現象の解明

東北大 材料科学高等研究所 佐藤 宇史/QST NanoTerasuセンター 堀場 弘司

7.外場下・空間分解RIXS による量子物質の相競合の解明

東北大 学際科学フロンティア研究所 鈴木 博人/QST NanoTerasuセンター 宮脇 淳

8.軟X線XAFSとラマン分光を組み合わせた溶液中の構造解析手法の開発と生体分子・機能性材料への展開

東北大 薬学研究科 中林 孝和/QST 高崎量子技術基盤研究所先端機能材料研究部 佐伯 盛久

9.量子ビーム技術を駆使した細胞内構造転移の機能解明

東北大 農学研究科 原田 昌彦/QST NanoTerasuセンター 藤井 健太郎

10.軟X線マイクロビーム分光による抗体薬物複合体の腫瘍細胞内動態解析

東北大 医学系研究科 権田 幸祐/QST NanoTerasuセンター 藤井 健太郎

16:35-16:40 閉会挨拶 東北大 杉本 亜砂子 理事・副学長

参加申し込み

こちらの[リンク](#)あるいはQRコードからお申込みください

登録締め切り 3月3日(月) 17:00

会費:無料

問い合わせ

QST-東北大マッチング支援事業事務局

E-mail: kenkyo-kikaku@grp.tohoku.ac.jp(東北大)

innov-tspf@qst.go.jp(QST)

主催: 量子科学技術研究開発機構、東北大学

